

都議選の結果は日本株にどう影響を与えるか

自民党内部の「2つの勢力争い」に注目

自民党内の「2つの勢力」に注目

一方、これと対照的な勉強会も自民党内で行われている。「日本の未来を考える勉強会」で、安藤裕衆議院議員が呼びかけ人となり、2回生の議員が参加者の中心となっている。この勉強会において、「民間投資を補う財政出動を絞れば経済が低迷し、税収減で財政がかえって悪くなる」「財政黒字化目標の代わりに、毎年度の当初予算の増額幅を2兆～3兆円に抑えることを目安にすべき」「教育費の負担軽減に充てる教育国債の発行も許容される」「消費税については増税凍結だけでなく5%への減税も視野に入れるべき」などの提案がまとめられ、27人の議員の賛同が得られたとも報じられている。

やはり前回コラムで紹介したが、消費増税に慎重であり、財政支出拡大を安倍首相の前で提言したジョセフ・スティグリッツ教授らの意見を、安倍政権は重視しているとみられる。こうした若手議員による提言は、アベノミクスを徹底する官邸の政策姿勢が、党内の一定の政治勢力として顕在化していると位置づけてもいいのではないか。